

学校 番号	66	学校名	飯田OIDE長姫高等学校
----------	----	-----	--------------

令和6年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和6年7月6日（土）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 学校評議員委嘱 |
| 2 | 本校の概況説明 |
| | (1) 学校長より (2) 学校自己評価表について |
| | (3) 進路指導より (4) 生徒指導係より |
| | (5) 定時制より |
| 3 | 協議 |
| | (1) 評議員の方からの意見・要望 |
| | (2) 協議 |

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・文化祭の一般公開日に合わせて学校評議員会を開催し、各学科の専門性を生かした展示発表や各種企画を参観していただいた。
- ・当日は学校側の出席者を限定し、報告を精選することで協議の時間を十分に確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるよう配慮した。そのため資料を検討していただけるよう事前に送付した。
- ・生徒の活動が掲載された新聞記事を集めた小冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」と、新聞「OIDE通信」を作成し、本校の取り組みの成果や外部の評価が確認しやすいように配慮した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・進路指導係より本校生徒の卒業後の進路について深刻な就職者の減少と進学者の増加傾向等について説明を行い、評議員からは地域企業の慢性的な人材不足の現状の説明と高校側の取り組みについて要望が出された。また、就職者の卒業後の離職率に関する報告が係より行われ、その継続的な取り組みが就職希望者への指導に活かされていることに関して評価をしていただくことができた。
- ・生徒指導係からは今年度の主な事例等の情報提供が行われ、SNS に起因するトラブルの未然防止についての早期対応の重要性について話題となった。
- ・評議員から女子生徒の進学数の増加等による県外への流出についての問題提起があり、地域の衰退を食い止めるためにも地元定着に向けての一層の努力が企業、学校共に重要であるとの提言をいただいた。学校からは地域の魅力や課題に関する探究的な学びである地域人教育の取り組みの継続や、地元の公務員や金融、医療等で更に採用枠を増やすよう地域への要望が出された。
- ・地元短期大学での本校出身の学部生の活躍と、短大卒業後に地元で即戦力として活躍できるような資格取得やスキルアップに繋がるカリキュラムの開発などについて情報が提供された。
- ・学校の位置する鼎名古熊地区の自治会による防犯や交通安全等の取り組みについて説明が行われ、情報共有や要望等について学校と連携して対応をしていきたいとの申し出をいただいた。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・各種の先端技術講習会や資格取得のための講習会等の協力、課題研究における支援、地域の安全な環境の維持等、直接生徒に関わる部分での協力を学校評議員の方々に継続的に依頼し、この制度の一層の充実を図っていきたい。